

# ファミリーキャンプ2025

## 活動報告



広島市青少年野外活動センター・こども村

2025/6/18作成

## 実施概要

### 【目的】

小学生を含む家族を対象に、豊かな自然の中での野外炊飯やキャンプファイアーなどの機会を提供し、人や自然との出会いを通じて、新たな価値の発見や心の成長を促すことを目的とした事業です。

### 【定員・応募数】

小学生を含む家族 9家族・45家族

### 【告知の方法】

- ・市民と市政に掲載（令和7年5月15日号）
- ・青少年野外活動センター・こども村ホームページへ案内を掲載
- ・青少年野外活動センター・こども村FACEBOOKへ案内を掲載

### 【当日のスケジュール】

6月14日(土)		6月15日(日)	
10:00	はじめのつどい	7:00	野外炊飯(ホットケーキ・ねじりパン)
10:15	ランプシェード作り	9:30	焼杉体験
12:00	昼食(持参)	11:00	おわりのつどい
13:30	火おこし体験		
14:30	野外炊飯(すき焼き風煮・燻製)		
18:00	入浴		
19:30	フリータイム		
21:30	就寝		

## プログラムについて

### ■ランプシェード作り 担当 シュガー いっしー

(内容)

竹を加工してランプシェードを作りました。使った道具は「くりこぎり」。コの字形の曲がり柄を回転させて穴を開けるドリルです。こどもたちは家族の人と一緒にくりこぎりを使って、竹に穴をあけて、ランプシェードを作りました。材料選びからデザインまで自分で決めて、自分で作り、ゴールも自分で設定します。大人の方も夢中になる時間となりました。



### ■火おこし体験 担当 シュガー

(内容)

まい切り式火おこし器を使った火おこしをしました。野外炊飯をするために、火が必要です。こどもたちが中心となって火を起こしました。悪天候の中ではありますが、全ての家族が火をおこすことに成功しました。



### ■野外炊飯 担当 すき焼き：タッチー 燻製：しょうちゃん

(内容)

薪を使ってかまどで火を起こし、すき焼き風煮を作りました。材料と炊飯用具の下準備は親子で行いました。かまどの火力に注意しながら炊飯を行いました。こどもたちは、ピーラーを使って人参の皮をむいたり、包丁で野菜を切ったりしました。同時にサクラのチップを使った燻製作りを紹介も行いました。



## ■フリータイム

(内容)

雨天のため、キャンプファイアーを中止し、各家族でゆっくり過ごす時間としました。宿泊棟に宿泊した家族は、フランス生まれの木製ブロック「カプラ」を楽しみました。テントに宿泊した家族は、炊飯場で簡単なゲームをしたり、歌を歌ったり、踊ったりして過ごしました。



## ■野外炊飯 担当 ホットケーキ・ねじりパン：シュガー ジャム作り：タッチー

(内容)

ホットケーキを作りました。いつもどおりフライパンで焼いても、型焼きで焼いてもいいようにしました。型焼きでは「たい焼き」・「ワッフル」・「ホットサンド」などの型を使用しました。ねじりパンは、強力粉をコネて、生地を発酵させることから作りました。ほとんどの子どもたちにとって、かまどでパンを焼く初めての体験となりました。ホットケーキとねじりパンは、手作りのブルーベリージャムをつけて食べました。



## ■焼杉体験 担当 シュガー

かまどで杉板を焼きあげ、表面を研磨し、アクリル絵の具で絵付けをする体験をしました。ファミリーキャンプの名前や実施日を記入したものや、ネームプレートとして部屋で使用するものなど、様々な作品ができました。



## 家族みんなでどこまでできるかに挑戦！

### ■3歳から中1までのこどもたち

家族向けのイベントでも、参加者の年齢制限により、弟や妹が幼児（年中や年少）のため事業に参加できないという意見を聞くことがあります。そのほとんどは、こどもたちに幼少期から自然体験を味わわせてあげたいという熱心な保護者の方からの要望です。

それらに応えられるよう、対象を「小学生を含む家族」とし、小学生未満の幼児の参加も認め実施しました。応募者多数のため、抽選により、参加者を決定しましたが、学年の幅は「年少から中1まで」となり、幼児が6人、小学校低学年が5人参加するキャンプとなりました。

### ■幼児が取り組めるための工夫

- ① ランプシェード作りでは、くりこぎりを3種類（細い・中・太い）用意しました。大人が細いくりこぎりでガイドの穴を空ければ、太いくりこぎりを回しやすくなります。
- ② 火おこし体験では、幼児と大人と一緒に火おこし器を回す方法を紹介しました。
- ③ 夕食では、燻製のゆでたまごを80個用意し、ゆでたまごの殻をむく作業を用意しました。
- ④ キャンプファイアーを日暮れ前に時間設定をし、入浴時間・就寝時間を早めました。
- ⑤ 朝食では、ねじりパンの棒を「細く長い」ものを準備しました。パンを焼く際に、火から距離をとったうえで、幼児でも持てる重さの真っすぐなサクラの枝を厳選しました。
- ⑥ 焼杉体験では、アクリル絵の具を、思う存分使えるようにボトルに小分けにして準備しました。企画者が工夫を取り入れたことで、こどもたちの挑戦や積極性を促せた部分もありましたが、一番は幼児が体験をする際に、怒らず、急かさず、否定せず、寄り添い、見守る、ご家族のサポートが必要であることを改めて実感しました。

